

20回の「さんさんコンサート」に感謝

文化の香り高いまちづくり実行委員会が表敬訪問

平成10年の発足から14年間にわたり、町民の文化振興を目的に、夏祭りや図書館ホールで20回のさんさんコンサートを主催してきた「菊陽町文化の香り高いまちづくり実行委員会」が、活動に一区切りつけることを決定され、4月26日に後藤町長を表敬訪問し報告を行いました。

町長はこれまでの活動に敬意を表して感謝状を贈呈し、「これからも委員会の理念を受け継ぎ町民の文化振興を図っていきたい」と述べました。



▲有名な歌手やバンドを招いた委員会に感謝状を贈呈

婦人会相互の連携と協調を図る

菊陽町地域婦人会総会

菊陽町地域婦人会総会(岩根祐美子会長)が4月13日、中央公民館で開催されました。これは、町内支部婦人会相互の連携と協調を図ることを目的としたものです。

平成25年度の努力目標として男女共同参画社会の実現を目指し、こころ豊かな人づくり、地域づくりに重点を置き、唱和を行いました。その後、外村信子さんによる歌と講話があり、親の介護の体験談や歌を通しての人との出会いの大切さなどを話されました。



▲菊陽町地域婦人会の皆さん

県内外から過去最多の参加

第6回はなぐりカップサッカー大会

第6回はなぐりカップサッカー大会が4月28・29日の2日間にわたって行われ、過去最多となる139チームが熱戦を繰り上げました。

会場では、町の史跡である「鼻ぐり井手」の紹介とともに、整備費用のための募金が行われました。

寄せられた「はなぐり募金」は5月13日、主催者であるはなぐりカップサッカー大会実行委員会委員長の相馬信一さんから、鼻ぐり井手祭実行委員会会長の矢野誠也さんに渡されました。



▲主催者から募金が手渡されました

全国にきらりと光る環境保全の町へ

菊陽町地域環境協議会発足会

菊陽町地域環境協議会の発足会が5月1日、中央公民館で行われました。これは、人とみどりにやさしい町づくりを目指して、グリーン(ゴーヤ)カーテンの普及や啓発を行い、二酸化炭素の削減を図り、地球温暖化防止に努めることを目的とした新たな環境保全の推進組織です。

構成メンバーは、町老人クラブ連合会や町地域婦人会、町社会福祉協議会、夢街光の森会、グリーン(ゴーヤ)カーテン菊陽の皆さんです。



▲地球温暖化防止を目的として発足した地域環境協議会

住民説明会を開催します

総合政策課 総合政策係 ☎(232)2112

(仮称) 菊陽町光の森複合施設

町が光の森2丁目に建設を計画している複合施設の実施設計がまとまりましたので、計画の概要や設計の詳細について説明会を開催します。

■日時 6月25日(火) 午後7時から

■場所 武蔵ヶ丘コミュニティセンター 研修室

■これまでの経緯と今後の予定

本施設は、平成23年度に発足した建設検討委員会で、計7回の会議を開催し、地域または各団体の代表者からいただいた意見を基本設計に反映させ、平成24年度には施設の具体的な設計内容を盛り込んだ実施設計を作成しました。

今後は、この実施設計に基づき、平成25年度中に着工し、約1年の工事期間を経て、平成26年度中の利用開始を目指して業務を進めていきます。



▲(仮称) 菊陽町光の森複合施設の完成イメージ

鼻ぐり井手公園拡張整備

町が曲手地区に計画している鼻ぐり井手公園拡張整備について、計画の概要や今後の予定に関する説明会を開催します。

■日時 7月12日(金) 午後7時から

■場所 南部町民センター 多目的ホール

■これまでの経緯と今後の予定

本公園整備は、南小校区の活性化を目的として、平成23年度に地域の代表者などからなる検討委員会を設置し、計5回の会議の中で整備内容について意見をいただきました。現在、その意見を基に実施設計を作成しています。

整備計画では、平成25年度に着工、平成26年度に一部利用を開始、平成27年度に完成を目指しています。施設の管理方法や施設を活用した地域活性化への取り組みについては、今後、地域住民の皆さんと一緒に考えていきます。



▲鼻ぐり井手公園拡張整備後のイメージ

富士フィルム九州構内の満開の桜が題材

「スケッチ大会 / フォトコンテスト」 入選者表彰式

第5回富士フィルム九州感謝Day！さくら祭りの会場で募った「スケッチ大会 / フォトコンテスト」の入選者表彰式が5月18日、菊陽町総合交流ターミナルさんふれあで行われました。

表彰式には保護者を含め31人が参加。布留川朗さん(富士フィルム九州㈱取締役総務部長)のあいさつの後、寄せられたスケッチ179点、フォト26点の中から選ばれた特選作品と入選作品の19点が発表され、受賞者に表彰状と記念品が授与されました。



▲和やかで笑顔の絶えない暖かい表彰式でした

今年の夏は涼しく過ごそう

緑のカーテン講座

町主催の緑のカーテン講座が5月8日～5月10日の3日間にかけて町民センター6カ所で行われました。この講座には計149人が参加し、参加者にはゴーヤの苗と肥料が配られました。

グリーン(ゴーヤ)カーテン菊陽の紫藤英二代表は「私たち一般住民は全体の電気使用量の4分の1を使っており、住民が節電に取り組む重要性が増しています。皆さんがグリーンカーテンで涼しさを味わい、その効果として節電ができれば」と話されました。



▲笑いあいの講座で楽しく学べました

友との絆で勝ち得た嬉しさ

第48回菊陽町会長杯争奪ミニバレーボール大会

設立25周年を迎えた菊陽町ミニバレー協会(村上緑会長)主催の第48回菊陽町会長杯争奪ミニバレーボール大会が5月12日に開催されました。大会には35チームが参加。選手たちは、スポーツの楽しさや友との絆を感じながら楽しく汗を流しました。優勝チームは次のとおりです。

女子【60歳以上】カレンズ【50歳代】グリーンピース

【40歳代】曲手【39歳以下】シュガリーノ

男子【50歳以上】コロッケ【49歳以下】TKLベアーズ



▲優勝した「カレンズ」の選手たち

町民の安心・安全な暮らしを守る

住まいのことならおまかせ隊「危険箇所看板設置事業」

菊陽町商工会指定「住まいのことならおまかせ隊」が5月10日、各小中学校の希望する場所に危険箇所の看板設置を行いました。

これは、菊陽町商工会加盟の地元業者らが悪徳業者から地域住民を守るため平成23年4月に結成した「住まいのことならおまかせ隊」の社会貢献活動です。

後藤一喜隊長は「地域住民のため今後もこのような活動を増やし安心安全な暮らしを守っていききたい」と力強く述べました。



▲「子ども飛び出し注意」の看板が設置された菊陽西小学校

旬の農産物で大盛況

さんふれあ春の収穫感謝祭

さん彩出荷協議会主催の「さんふれあ春の収穫感謝祭」が5月19日、菊陽町総合交流ターミナルさんふれあで開催されました。町特産のにんじんの詰め放題コーナーやメロン・スイカ・とうもろこしの試食会、たまごのつかみ取り、抽選会などがありました。会場内は大勢の来場者でにぎわい、「試食コーナーの野菜やぜんざいは、甘くておいしい」と大変好評でした。

この感謝祭は年2回開催され、11月には「秋の収穫感謝祭」が開かれる予定です。



▲長蛇の列ができていた「ぜんざいの振る舞いコーナー」

優勝目指して一致団結

中学校体育大会

菊陽中学校(宮川伊十校長)と武蔵ヶ丘中学校(岩下昭彦校長)の体育大会が5月19日、それぞれの学校で行われました。

各学校では短距離走やリレー、ダンス、綱引きや技巧走などの競技や演技が熱く繰り広げられました。生徒たちは練習の成果を精いっぱい発揮し、一致団結して各種目に挑んでいました。

小雨の降る中、生徒たちの頑張る姿に各団の応援団や保護者などからは温かく大きな声援が送られました。



▲力と力がぶつかり合い、綱引きをする生徒たち

絶対に火遊びはしません

幼年消防クラブ結成式

幼年消防クラブ結成式が5月10日、白菊保育園で行われました。ハッピー姿のクラブ員(年長18人)が担任の先生から指名点呼で名前を呼ばれると大きな声で返事をしていました。

消防署職員から「おうちの人や先生との約束を守って火遊びをしないようにしましょう。みんなで火の用心を呼び掛けましょう」とあいさつがありました。

その後、クラブ員全員で声を合わせて「私たち菊陽町幼年消防クラブ員は次のとおり誓います。ひとつ、私たちは絶対に火遊びはしません。ひとつ、お父さん、お母さん、先生方の教えを守ります。ひとつ、私たちは礼儀正しく素直な子どもになります。私たちは守ります。火の用心。平成25年5月10日」と「防火の誓い」を元気いっぱい力強く宣誓しました。

式の後、防火に関する映画を真剣に見ていた子どもたちは火事の恐ろしさを感じ、さらに防火意識を高めていました。



▲防火の誓いをする園児



▲式の後映画を見て防火意識を高めました